

授業計画書および成績評価の適切な実施に係る取組みについて

▶各学科のカリキュラムは、毎年、教育課程編成委員会の意見等を参考にして学科長会議で審議し、カリキュラム構成を決定する。それに基づき、各科目における担当者が授業計画書（シラバス）を作成し、学科長が点検、年度末は教務部が集約する。

▶成績評価の方法と基準は、授業科目の評価を A・B・C・D・E の 5 段階で評定し、出席評価を踏まえた上で最終に諸条件（授業態度等）を考慮して総合評価とする。

▶（成績評価）以下の A から E までの 5 段階評価である。

- ・ A（100～90 点）：（合格）非常に良いレベルである。
- ・ B（89～80 点）：（合格）良い部類に入るレベルに達している。
- ・ C（79～60 点）：（合格）課題としてのレベルに達している。
- ・ D（59～55 点）：（その他諸条件による）課題提出したが結果として不合格。
- ・ E（54～0 点）：（不合格）課題提出していないので評価できない。

▶（出席評価）

- ・ A：100%出席
- ・ B：90%以上
- ・ C：80%以上
- ・ D：60%以上
- ・ E：60%未満

▶総合評価

成績評価・出席評価を踏まえた上、最終に諸条件（授業態度等）を考慮し総合評価とする。

卒業認定の方針および適切な実施に係る取組みについて

履修規定に従い、在学期間に定められた科目の授業日数を修得することにより、出席日数を満たし、課題を提出し、試験に合格することにより卒業が認定される。

また、各学科には卒業制作展での制作発表が必要である。